

たむら

第9号 平成29年3月1日



「結果はあとからついてくる」

その言葉の裏にあるものは・・・

「結果」とは「終末の状況」という意味でしょうが、テレビ等の部活動や学校のシーンで「おまえ達、ここまでよく頑張った。一生懸命やれば、結果は後からついてくるんだ。自信を持って向かっていけ！」

というような事をよく言います。この場合の結果は、単なる終末の状況を意味しているのではなく、「素晴らしい結末・成果」という意味を表しています。でも、素晴らしい結末を迎えるためには、毎日行き当たりばったりで物事に向かっていただけではできません。「目標を持って」「計画的に実践し」「修正をかけながら」「積み重ねて」いかななくては、世の中、結果は出ないようになっていきます。

学校では「結果を出す」ための仕組みが整っています。年度始めに「スクールプラン」(1学期はじめのPTA総会でこれについてお話しました。いわゆる学校のマニフェストです。)をお示しして、年度の終わりにそれを振り返って、**結果を出せたかどうか**を判断してもらう「学校評価」という仕組みです。評価者は、子どもたちと保護者の方々と教職員自身です。

私たち教師は子どもたちに「おまえ達、ここまでよく頑張った。一生懸命やれば、結果は後からついてくるんだ。自信を持って向かっていけ！」と言う立場です。でも口だけはだめで(口も大切ですが…)子どもたちに目標や自信を持たせて、指導をし、結果を出させるようにがんばります。

地域や保護者の方には「先生達、ここまでよく頑張ってくれた。結果は後からついてくる！」と言ってもらえることを目指していますが、なかなか難しいこともたくさんあります。その時は次の年のやり方を変えるように方向修正をします。次年度に反映できるように、学校評価の結果を見ながら、次の年度が始まるまでに作戦を立てます。

そろそろ、その集計した結果を分析して、各ご家庭にお知らせする時期です。お手元に届くのは、3月半ば頃になると思います。どうか例年よりもじっくりそれを見ていただきますようお願いいたします。学校では、保護者だけでなく地域の方のご意見も聞きながら、十分に反省をして、次につながる対策を練っています。しかし対策の中には、ご家庭の力をお借りしないと結果を出すのは難しいこともございます。それもふくめた次年度の中名田小学校の教育対策ですので、ご理解願います。

3週間ほどで卒業式と修了式です。しっかりと学校を見届けてくださいますようお願いいたします。



この頃ちょっとうれしい子ども達のこと ベスト7

- ベスト1 大雪のために延期になった「生き生き学習発表会」が、無事行われたこと。寒い中、体育館で毎日練習していた全校のみなさん、がんばりましたね！
- ベスト2 なわとび大会で10分間跳びを達成した人が、26人もいたこと。(去年は14人)1年生も1名、達成することができました。
- ベスト3 6年生のふるさとPRビデオ「ステキな中名田」が完成したこと。取材・撮影・出演等お疲れ様。今後これを中名田小の財産にして、活用できるようにしていきたいと思います。
- ベスト4 1,2年生が育てている大根やカブラを、給食で食べさせてもらえたこと。大雪の下でけなげに育てていた大根、それを掘り起こしてくれた子どもたち。ありがとう！
- ベスト5 欠席0の日が100日を超えました！3学期は風邪や溶連菌感染症があって欠席0の日は少し少なめでしたが、でもみんながんばりました。100日超えて嬉しいです！
- ベスト6 6年生が宮川小学校と「英語☆」で遠隔授業交流会ができたこと。みんな自分の将来の夢を英語で語っていました。がんばれ、次代を担う若者達！
- ベスト7 6年生や4年生の学年末理科研究・工作が、なかなかの力作であること。「電気で動くおもちゃ」や「塩を使ったスーパーボール」など、面白そうです。



大雪後の晴れた朝、体が沈まないのが楽しくて、凍った積雪の上を走り回る子ども達



4年生 国語複式授業でのグループトーク



なわとび大会 持久跳び10分がんばれ



新1年生体験入学 体験給食でみんなで輪になって給食を食べました



3年生社会科で歴史民俗博物館を見学し、昔の道具を教えてくださいました



給食週間 給食調理員さんに感謝のプレゼントをしました

ネット被害の学習会をおこないました。

名古屋からKDDIの方に来ていただき、インターネットや携帯電話のトラブルや、犯罪に巻き込まれた事例等について教えていただきました。専門家の事例を聞くと、自分も「あ！」と思い当たって心配になるような事もあったようです。個人的に質問をしに来る児童もありました。地方だからとか、小学生だからという時代ではないということを実は理解していなければならないと思いました。子どもには生まれたときからそれがそばにあり、私たちよりよほど情報機器には強いのですから…

